

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: ㈱キューネット

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。

「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。

「予定」の項目は1年以内に「〇年〇月実施」として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		ISO 9001認証の中で規定、携帯する社員証と一緒に経営理念や目標についても管理。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		ISO 9001認証の中で規定、毎朝の朝礼で法令順守の考えが全社員へ浸透。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		ISO 9001認証の中で規定、毎朝の朝礼で不正競争行為に関与しない方針が全社員へ浸透。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		ISO 9001認証の中で規定、専門に設けたCS/ES推進部による体制で企業活動を管理。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		外部向け資料やメール、FAXなどの送付の際において複数人での処理と上長の確認を実施。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		ISO/IEC 27001認証取得、全ての情報について個人が使用する業務/パソコンのデータは共有サーバーで一元管理。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		定期的なグループイベントで全顧客に対話を実施、お中元・お歳暮シーズンに会社の活動状況と今後の事業方針について訪問し説明を実施。															16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		採用面接、募集要項において当該事項の一切の不問を実施。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		労働安全衛生規則に則って取組み実施。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		ISO 9001認証の中で規定、全ての社員に対して業務内容や賃金の内容を明確化する労働条件通知書を発行し、例えば定年後の60歳以上であっても賃与の支給や職能ランクは現状維持。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		ISO 9001認証の中で規定、定例の衛生管理委員会において残業状況、有休消化状況、健康診断の履歴を管理。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		ISO 9001認証の中で規定、社員個別に目標が設定され四半期毎の進捗管理と毎年の見直しを実施。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		ISO 9001認証の中で規定、定例の衛生管理委員会において残業状況、有休消化状況、健康診断の履歴を管理。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・育児期明けのキヤリアの継続、出産後に育児を取得しても管理職に就いたり、継続できる業務と体制を構築。また、具体的な行動計画を策定し遂行。職種によってリモートワークについても実施(2023年10月実施)。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●				3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: ㈱キューネット

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物の分類の徹底を実施、(2006年からの熊本県環境センター管理業務を通して学んだ)県民の財産である豊かな地下水や、水環境、自然の保全について啓蒙活動の実施。2025年度に「有明海干潟散策」を再度企画。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		全事業所の電力使用量を把握し、毎年の使用推移を専門の担当者が管理し使用量の抑制を実施。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		キューネットでの「Beyondゼロ」達成を目標にCO2排出量の把握と管理を実施。2021年度のキューネット(本社、営業所、社有車等)で排出したCO2量が基準。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		(2006年からの熊本県環境センター管理業務を通して学んだ)県民の財産である豊かな地下水や、水環境、自然の保全について啓蒙活動の実施。2025年度は「有明海干潟散策」を再提案するなど、海の環境保全教育を行うことで、地下水の保全に取り組んでいる。					6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		古紙、プラスチックゴミ、ペットボトル、ビンや缶等について分別を徹底しており、マイボトルやカップの利用を推進しゴミの発生抑制を実施。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		熊本いいくに会において江津湖清掃を実施。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		(2006年からの熊本県環境センター管理業務を通して学んだ)県民の財産である豊かな地下水や、水環境、自然の保全について啓蒙活動の実施。2022年度は「有明海干潟散策」を再度企画。									9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	新たに八代事業所、山鹿事業所で植栽をリニューアルし、緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。集合住宅エリアでの植栽管理に関して、緑を増やすだけに留まらず、日照環境を踏まえた植栽管理計画を策定。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	山鹿、八代、水俣、人吉、本社において空調設備を一新、電力消費量が20%削減可能な機器へ更新した。また、IoT機器を活用し未使用時の設備の電源オフを徹底するなど積極的な省エネを行っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: ㈱キョーネット

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		ISO 9001認証の中で規定、新規警備サービスやビル管理において事前の設計、レビューの工程を体系化。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		ISO 9001認証の中で規定、2025年度において本社屋研修室のバリアフリーの実施を計画、2021年度は本社1Fフロアの段差解消、トイレ改修を実施済み。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	安心ガメラ、寛容レジシステムの導入を推進。 個々で守る警備から、校区単位または自治会単位という「エリア」で守る警備を、小さな子供から女性や高齢者まで、そのエリアに暮らす全ての人が安心して暮らせる街を創造。わたしたちが目指したのは、警備会社が一方的に提供する犯罪抑止、防犯警備ではなくその街に暮らす住民の方々と一緒に街の未来を共有し、考え、調べ、創りあげる警備。いつまでも安心して暮らせる街を共に作り上げるというプロジェクトを遂行。 警備会社のこれまでの警備データをもとに犯罪や防犯の可視化、予想を行うなど更なる安心なまちづくりに取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		未来を担う子供たちの今日を確かに守りたい思いを込めて毎年、県内の小学校に「防犯ブザー」を寄贈。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業者への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		防災設備の定期的な点検を実施している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	警備先の顧客について消防設備法定点検の実施提案と消防設備不備の改善のための修繕工事を提案。 上通り商店街へ防災訓練、AED講習、さすまた講習などの展開を計画している。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	キョーネット未来会議が現在は新設された戦略イノベーション推進部および成長戦略室に組織化された。ここにおいて熊本の未来を変える(一企業と他企業、または学生が協力して実現する持続可能なまちづくり)に取り組んでおり、新しい事業の創出や職業の学びの場を提供している。				4				8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。